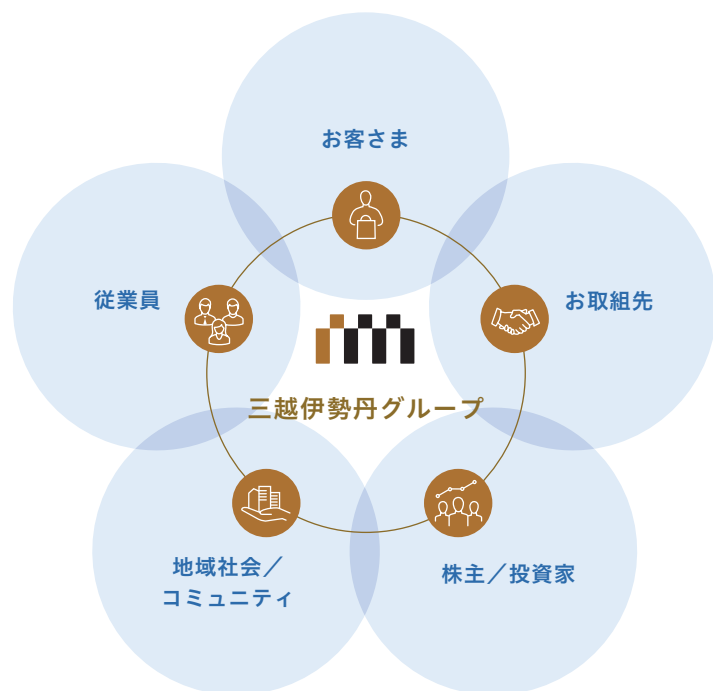
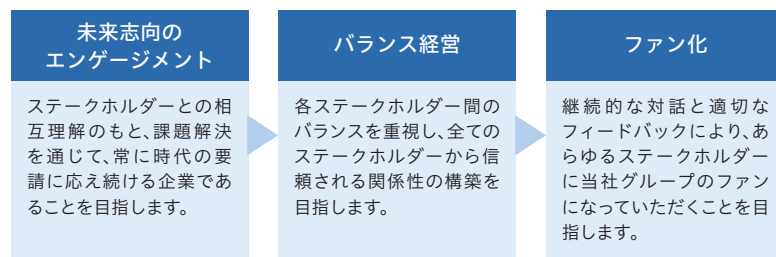


ステークホルダーと共創する未来

三越伊勢丹グループは、全てのステークホルダーとバランスよく、未来志向で友好的な対話やコミュニケーションを通じてWin-Winの関係性を構築し、社会価値向上および企業価値向上に寄与していきます。



ステークホルダーの皆さまからの貴重なご意見を社会課題や経営課題の認識につながる重要な手段と位置づけ、経営の意思決定に活用する仕組みづくりを強化するとともに、日ごろより積極的なコミュニケーション活動に励んでいます。

ステークホルダーとのコミュニケーション一覧

	取り組みの考え方	主な対話の手段
お客さま	私たちは、お客さまの想いに寄り添い、コミュニケーションを大切にしながら、安心・安全の確保とともに、最良の品揃えとサービスを提供し、信頼され選ばれ続ける存在を目指します。	● 日々の営業活動 ● 代表お問い合わせ窓口 ● お客さまアンケート (https://pdf.irpocket.com/C3099/Rhyn/ajT7/hj74.pdf)
お取引先	私たちは、お取引先との共存共栄の精神を尊び、安心・安全な商品・サービスを提供するとともに、責任あるサプライチェーンの構築に取り組み、持続可能な社会の実現に向け役割を果たしていきます。	● お取引先行動規範の通知 ● お取引先アンケート ● お取引先方針説明会 ● お取引先との個別対話
株主／投資家	私たちは、株主／投資家の皆さまとの双方向のコミュニケーションや適時・適正な情報開示などを通じ、経営の透明性の維持と説明責任を果たしながら、持続的な企業価値の向上を目指します。	● 株主総会 ● 株主アンケート ● IR説明会(決算説明会・個人投資家向け説明会) ● サステナビリティ説明会、方針説明会 ● 統合レポート ● サステナビリティレポート
従業員	私たちは、多様な人財が失敗を恐れずに挑戦できる組織風土をつくるため、従業員との対話を重視するとともに、各施策・制度の整備を行い、「働きがい」「働きやすさ」が両立する職場環境の実現を目指します。	● 役員・従業員対話会 ● 1on1ミーティング ● 社内イントラネットを通じた情報提供・意見交換 ● 従業員エンゲージメント調査 ● 組合活動、労使協議会
地域社会／コミュニティ	私たちは、地域社会やコミュニティに寄り添い、要請に合った商品・サービスの提供を通じ、地域社会の発展に貢献する活動を推進することで、お互いを尊重し合える関係性を築きます。	● 社会貢献活動(災害支援・ボランティア活動など) ● 地域行事などへの参加 ● 産学連携活動の推進 ● (公財)伊勢丹奨学会を通じた次世代教育支援 ● 文化・伝統イベントの開催

📄 マルチステークホルダー方針URL
<https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/sustainability-cms-imhds-s3/pdf/%E4%B8%9E%E8%B6%8A%E4%BC%8A%E5%8B%A2%E4%B8%B9%E3%83%9E%E3%83%AB%E3%83%81%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%9B%E3%83%AB%E3%83%80%E3%83%BC%E6%96%B9%E9%87%9D.pdf>

社外取締役からの期待

社外取締役

安藤 知子

(株)オープン・ザ・ドア 代表取締役



ビジョンに向けてのサステナビリティ経営

三越伊勢丹グループは、時代を先取りした変革を続けながら進化してまいりました。このたび発表しました中期経営計画も、2030年からさらにその先を見据え、既存の百貨店経営の概念を大きく進化させる、未来へのビジョンに向けての道筋の一步と言えるでしょう。

この変革の中で私たちが向き合うサステナビリティの課題は、環境やサプライチェーン・マネジメントなど多岐にわたります。中でも、当社だからこそ取り組むべきことは「人」「地域」「文化」という軸で、未来を見据えた新しい価値や仕組みをつくり出していくことであると思います。

複雑化するサステナビリティの課題に向き合いながら、経済的価値と社会的価値をあわせて豊かな未来を創造していくのは簡単なことではありませんが、ビジョンに向かって、当社ならではの力を最大限に活かし、リーディングカンパニーとして社会にインパクトを与えていくことを期待しています。また、そのために私も社外役員としての責務を果たしてまいりたいと考えています。

ひとの力の最大化

未来を見据えての進化に最も重要なのは人財です。当社グループは企業理念の中に「こころ動かす、ひとの力で。」をミッションとして掲げており、重点取り組み(マテリアリティ)の一つに「ひとの力の最大化」をうたい、人財育成や組織開発のためのアクションの充実に努めています。

ひとの力の最大化のためには、制度などの整備も大切ですが、その土台としてDE&I(多様性、公正性、包摂性)文化の醸成が不可欠であると私は考えています。DE&Iというと女性活躍という最初の一步すら停滞気味であるのが日本の現状ですが、本来のDE&Iはイノベーション、ステークホルダーのエンゲージメント、ガバナンス/リスクマネジメントといった経営の土台を成すものであり、経済のみならず、社会全体にも活力を与えるサステナビリティの中核を成す要素と考えられます。

未来を見据えるということは、現状からの延長線を引くのではなく、描いたビジョンと現状とのギャップを直視し、そのギャップを埋めるアクションにコミットするということだと思います。当社グループが自ら描いたビジョンに向かって邁進し、DE&I文化の醸成、ひとの力の最大化、そして地域と文化への活力という点においても、社会にインパクトを与え続けることを心より期待しています。

参加しているイニシアティブ／社外からの評価

Section 1

イントロダクション

Section 2

重点取り組み(マテリアリティ)

Section 3

具体的な取り組み

Section 4

「ひとの力の最大化」に向けて

Section 5

ステークホルダーエンゲージメント

巻末資料

三越伊勢丹グループのサステナビリティに関する取り組みの評価などを一部抜粋してご紹介します。

詳細はHPで御覧になれます。
<https://www.imhds.co.jp/corporate/sustainability/evaluation/index.html>

参加しているイニシアティブ

国連グローバル・コンパクト  国連グローバル・コンパクト 国連と民間(企業・団体)が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブ。署名する企業は、人権の尊重、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則にコミットし、実現に向けた努力が求められます。 ○ 2023年3月署名	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)  気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) TCFDとは、金融安定理事会(FSB)により設置された、企業に対して年次報告において、財務に影響のある気候関連情報の開示を求めるものです。 ○ 2021年11月賛同
--	--

インデックス等への組み入れ

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index  FTSE Blossom Japan Sector Relative Index FTSE Russell社 各セクターにおいて相対的に、環境・社会・ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。 ○ 2024年度構成銘柄	SOMPOサステナビリティ・インデックス  Sompo Sustainability Index SOMPOアセットマネジメント(株) ESG(環境・社会・ガバナンス)に優れた取り組みを行う約300社が構成銘柄に選定され、同社の「SOMPOサステナブル運用」に活用されます。 ○ 2024年度構成銘柄	MSCI日本株女性活躍指数(WIN) 2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) MSCI日本株女性活躍指数(セレクト) MSCI (Morgan Stanley Capital International)社 (モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社) MSCIが新たに開発した性別多様性スコアに基づき、業種内で性別多様性に優れた企業を選別して構築。MSCI ESG リサーチが非常に深刻な不祥事を起こしている、あるいは人権や労働者権利において深刻な不祥事を起こしていると評価する企業は対象外となります。 ○ 構成銘柄(2023年6月時点)
---	--	---

社外からの評価

CDP  CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト) 世界の主要企業に「気候変動」「水」「森林」に関する質問書を送付し、取り組み状況をA～Fの9段階で評価。「気候変動」では、CO₂など温室効果ガスの排出量や削減の取り組み、気候変動による事業リスク・機会などの情報開示が求められます。 ○ 2022年から2年連続で最高評価「A」を取得	CASBEE (建築環境総合性能評価システム)  (一財)住宅・建築 SDGs推進センター(IBECS) 建物の省エネ性能や室内環境、維持管理など建物の品質を総合的に評価して認定。 ○ 伊勢丹新宿本店 ○ 三越日本橋本店 ○ 三越銀座店 ○ 伊勢丹浦和店 ○ 仙台三越 ○ 新潟伊勢丹 ○ 静岡伊勢丹 ○ 高松三越 ○ 松山三越	SEGES 都市のオアシス  (公財)都市緑化機構 快適で安全な都市緑地を提供する取り組みを認定する制度。「都市のオアシス」では、都市のアメニティに特化した緑地機能を評価。 ○ 伊勢丹新宿本店「アイ・ガーデン」 ○ 三越日本橋本店「日本橋庭園」 ○ 三越銀座店「銀座テラス」	健康経営優良法人  2024 健康経営優良法人 Health and productivity 経済産業省 地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度。 ○ 2024年認定
---	---	--	---